



実習前に読んでおくと役立つ本の紹介



山野栄子先生

「日本が誇る！ていねいな保育」大豆生田 啓友・おおえだ けいこ 著 小学館
 「乳児の実習で何をどう観察すればより充実した実習になるのか？」戸惑うことが多いと思います。この本は0・1・2歳児クラスの現場からイラストや写真が入り、保育者の関わり方や環境、子どもの生活や遊びなどがとても分かりやすくまとめられた本です。
 一つ一つの行動に意味があり、乳児期のていねいな保育が子どもの何を育て、いかに重要であるかが理解できます。ぜひ、読んでみてください。子どもの『ころもち』が分かると保育は楽しくなりますよ!!



桂山たかみ先生

「みんなが知りたい！音楽実技対策」深見友紀子著
 株式会社ヤマミュージックエンタテインメントホールディングス出版部
 保育士や幼稚園教諭を目指す皆さんは、授業でピアノや弾き歌いを学んでいます。単位を取らなければならないし、授業では到達度を確認するための発表会があるので、とても熱心に履修している人がほとんどです。ところが、実習や採用試験のことになると意外に知らない人が多いのです。この本では、音楽が不得意な皆さんにも分かりやすく、同時にピアノが得意な人も有益な新しい情報が得られる、これまでにあるようななかった音楽実技試験対策のための本です。ぜひ一度読んでみて下さい。

Contents

1. 実習前に読んでおくと役立つ本
(山野栄子先生)
(桂山たかみ先生)
2. 図書館の思い出
(平松喜代江先生)
3. 特集&ミニ企画展
4. 学生さんによる絵本の紹介
5. 図書館よりお知らせ



「図書館の思い出」 平松 喜代江先生

「図書館」と考えた時、私が思い出すのは何故か本よりも図書館の空気感だったり、友人であったりします。
 小学生のころは、積極的に図書室を利用した思い出はありません。もっと、自分の好きな本を探せば良かったと思いますが、当時、放課は10分しかなく、図書室に行っている時間が全くなく残念に思っていたことを覚えています。中学校の図書室の思い出は、何故だか皆無です。高等学校の図書室は、毎日閉館時間まで友人と残って切磋琢磨し互いに勉強をしていました。この頃の図書室は「自分を鼓舞する場」であったように思います。大学に入ってから、図書館はもっぱら予習・復習、講義の合間の休憩場所となりました。大学院では、今ほどインターネットも進歩していなかったため、論文作成のために、先行研究論文を探すのに、論文や文献の参考文献・引用文献から拾い出し、1つずつ自分で探して読み込んでいくしか方法がありませんでした。これはとても時間のかかる作業でしたが、本の検索・他大学からの取り寄せる方法やルールを図書館で学びました。
 思い返してみると、図書館はそこを通して、本の閲覧、貸出だけではなく、私の人生の思い出がたくさん詰まった場所だと気づかされました。今後もどのような思い出が増えていくのか楽しみです。

特集&ミニ企画展



●特集「論文の書き方・調べ方」

館内のホワイトボードにて上記の特集を行っております。パスファインダー（調べ方案内）を置いてありますので、ご自由にお持ちください。

- ・統計を調べる
- ・論文の探し方
- ・情報の特徴・信頼性を確認しよう
- ・OPACの基本的な使い方



●ミニ企画展

いろいろな「三匹のこぶた」絵本

開催期間：7月30日～12月25日
内容：昔話「三びきのこぶた」は、ジェイコブスがまとめた『イギリス昔話集』（1890）によって世界中に広く知られるようになりました。そして、現在も数多くの絵本になって、多くの子どもたちに親しまれています。

今回、長年にわたり川勝先生が収集してきたさまざまな「三びきのこぶた」の絵本を、ミニ企画展として展示することになりました。

この機会に、一度それらの絵本を見てくださいませんか。

学生さんによる絵本の紹介



「はじめてのおつかい」筒井頼子 さく / 林明子 え

(Yさん)

みいちゃんは、ママに頼まれて牛乳を買いに出かけます。それは初めてのおつかい。幼い頃、読んでもらった絵本の中で一番印象に残って、覚えている絵本です。きっと自分も絵本の世界に入り込んで、みいちゃんと一緒に体験した気持ちになったと思います。恥ずかしくて、大きな声が出せない気持ち。ドキドキする不安と焦り、転んですりむいた膝の痛み。そんなみいちゃんの姿に子ども達は共感するでしょう。自分も同じ気持ちになって絵本の世界に入り込んでいき、ひとりでおつかいに行くという責任感とドキドキと不安、そんな気持ちで一緒におつかいに行くのです。作中に、お店のおばさんに大きな声で呼びかけるシーンがあります。何度も何度も呼びかけて気づかなかったお店のおばさんが、きちんと謝り、子どもにだからこそしっかり大人が向き合うシーンが描かれています。読後、表紙絵を見直すとみいちゃんの達成感と安堵感いっぱいの笑顔が改めてよく伝わってくる絵本です。

「とらばあちゃんのうめしごと」いちかわけいこ 文 / 垂石眞子 絵

(Mさん)

この本の主人公はとらばあちゃんと孫のゆうたです。とらばあちゃんはうめを育てていて雨があがると「うめしごと」を始めるのです。「うめしごと」とはうめのみを木に登って収穫し、うめ酒やうめぼしを作ることです。孫のゆうたは好奇心旺盛だけどちょっぴり怖がり。今まで木登りをしたことがありません。そんなゆうたがとらばあちゃんの励ましで初めて木登りに挑戦します。途中で怖さのあまり泣いてしまいましたが、諦めずになんとたくさんのうめのみを収穫することができました。さて、ここからがとらばあちゃんの腕の見せ所。うめぼしの漬け方をゆうたに伝授します。2か月の完成が待ち遠しいですね。そして2か月後、おいさがぎゅつと詰まったうめぼしの完成です。食べてみると家族全員すっばくしてわいわいの顔になりました。最後にとらばあちゃんのうめぼしの漬け方が載っています。機会があれば作ってみましょう。



ユマニテック短期大学 としよかんだより

2号（2020年7月20日発行）

ユマニテック短期大学 図書学術委員会
〒510-0066

三重県四日市市南浜田町 4-21

Tel 059-356-8170

<https://www.jchumanitec.ac.jp/library/>

☆OPAC（蔵書検索）はこちらから↓



図書館からのお知らせ

①7/7、図書学術委員会にて第2回購入リクエストで集まった図書の選書が行われました。今回の図書は90冊（内視聴覚資料3点）。

8月頃に新着図書コーナーを設ける予定です。お楽しみに！

②次回第3回購入リクエストの締切は10/15（木）です。

③蔵書点検を9/8（火）～10（木）で実施予定です。

この期間は閉館になりますので、ご了承ください。

（※貸出ができませんので、必要な場合は早めに借りておきましょう）

みなさんの原稿を募集します！

新刊紹介やおすすめ絵本の紹介などの原稿を募集します。

採用された方には図書カードを進呈します。ご応募お待ちしております。

詳しくは図書館カウンターまで。

